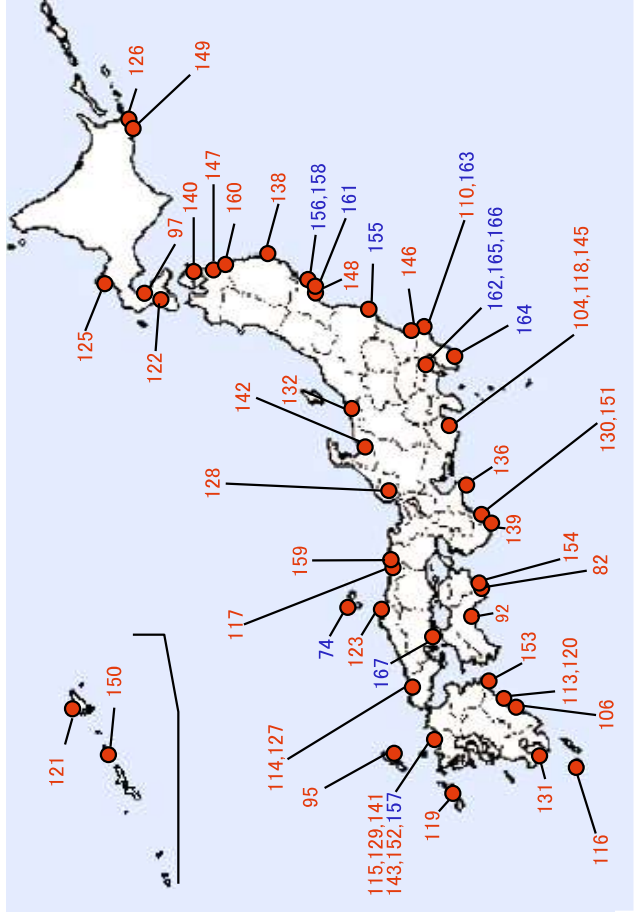


# 漁業構造改革プロジェクト進捗状況 — 実証事業中・実証予定の計画 — (平成30年11月2日現在)



- 126 根室湾中部(小型いか釣り)：1人乗り漁業による高品質生産、LED集魚灯導入等<28.8～改革型>
- 127 山口外海(大型定置)：未利用漁場活用による生産力向上、村張りから法人化による経営体制強化等<28.11～改革型>
- 128 福井(大型定置)：出荷・販売ルートの開業による収益性向上等<29.3～改革型>
- 129 遠征組合⑥(大中まき)：活魚輸送・畜養いけすによる漁獲物の有効利用、船団縮小(5隻→4隻)等<29.1～改革型>
- 130 遠洋かつお一本釣り(尾瀬)：499トン改革型漁船の省コスト操業、活餌イワシ生存率向上等<29.3～改革型>
- 131 枕崎(遠洋かつお一本釣り)：冷海水によるプラリン産の安定供給、省エネ船型導入等<29.9～改革型>
- 132 上越(小底)：2人体制の二ギスに特化した操業モデル確立、機船との協業化、選別機導入等<29.4～改革型(沿岸漁業版)>
- 136 三重県美珠養殖(真珠養殖)：低塩分養成技術の導入、作業船の共同化等<28.6～改革型>
- 138 宮古・釜石(沖底)：省エネ型漁船の導入、トローラーセンサーシステム導入等による省コスト化<30.2～改革型>
- 139 太地町(大型定置)：省エネ・省力型漁労機器搭載の改革型漁船の導入等による省コスト化<29.10～改革型>
- 140 青森県大畑(小型定置)：改良型網の導入、省エネ型漁船の導入等による生産性の向上<28.11～改革型>
- 141 遠征組合⑦(大中まき)：改革型運搬船による養殖用種苗の洋上販売、船団縮小(5隻→4隻)等<29.9～改革型>
- 142 とやま市(大型定置)：改革型マント網の導入、ホタルイカの高付加価値化、旧網利用による操業期間延長<28.12～改革型>
- 143 遠征組合⑧(大中まき)：改革型運搬船の導入、フィッシュポンプの活用、水使用量の削減、船団縮小等(9隻→8隻)<29.9～改革型>
- 145 遠洋かつお一本釣り(統津③)：S-1カゾオの増産、499トン型基本船型の開発・導入<29.12～改革型>
- 146 神栖市沿岸漁業(小底)：改革型漁船の導入、消費地市場への自家出荷等<29.3～改革型(沿岸漁業版)>
- 147 遠洋まぐろ延縄(八戸)：フォーム式荷役装置を搭載した改革型漁船の導入、転載による効率化等<30.7～改革型>
- 148 遠洋かつお一本釣り(塩釜)：改革型漁船の導入、新製品の生産、タスマン漁場の再開発等<30.3～改革型>
- 149 全国さんま棒受網(落石)：省エネ・省コスト型漁船の導入、フィッシュポンプによる省人化等<29.9～改革型>
- 150 与論(ソテイカ旗流し)：改革型漁船の導入、ソテイカ下足の高鮮度出荷、ブランド化等<29.9～改革型>
- 151 尾鷲(大型定置)：改革型漁船及び改革型漁網の導入、一際起こしへの操業転換及び網交換作業の効率化等<29.10～改革型>
- 152 遠征組合⑨(大中まき)：改革型漁船の導入、船団縮小(5隻→4隻)、運搬船の共同利用等<30.4～改革型>
- 153 北浦(中まき②)：改革型網船の導入、船団縮小(5隻→4隻)、網船冷海水魚箱による鮮度保持等<30.4～改革型>
- 154 野根(大型定置)：改革型漁船及び改革型漁網の導入、周年操業化による生産性向上等<30.2～改革型>
- 155 いわき(遠洋まぐろ延縄)：経営体統合、大型改革船及び省エネ型改革船の導入による船団操業の効率化等<改革型>
- 156 遠洋まぐろ延縄(気仙沼⑥)：省エネ・労働環境改善型漁船の導入、航海計画の最適化等<改革型>
- 157 遠征組合⑩(大中まき)：ミニ船団化(5隻→3隻)、スラリーアイスと冷海水の併用による鮮度保持等<改革型>
- 158 遠洋まぐろ延縄(気仙沼⑦)：改革型漁船の導入による省エネ運航、縦型コンベアの設置による餌料作業の大幅な省力化等<改革型>
- 159 浜坂(沖底②)：改革型沖底-いか釣り兼業船の導入、船上凍結による漁獲物の高品質化等<30.9～改革型>
- 160 青森県八戸(大型定置)：改革型漁船及び改革型漁網の導入、季節網の採用による安定生産体制の確立等<改革型>
- 161 北まき・石巻②(大中まき)：改革型運搬船の導入による漁獲物の高鮮度化、石巻への水揚げの増加等<改革型>
- 162 海外まき網(海まき③)：共通船型・仕様による建造コスト等の削減、搭載ヘリコプターを用いた素群れ操業等<改革型>
- 163 北まき・鶴子(大中まき)：改革型網船の導入、船団縮小(3隻→2隻)、魚箱内温度管理システムによる鮮度保持等<改革型>
- 164 千葉県安房(大型定置)：改革型漁船の導入による船団縮小(6隻→4隻)、改革型漁網による周年操業化等<改革型>
- 165 遠洋まぐろ延縄：共通船型・仕様による建造コスト等の削減、高速ブロードバンド衛星通信システムによる導入等<共通仕様>
- 166 全国さんま棒受網：共通船型・仕様による建造コスト等の削減、公海操業に対応した冷凍・冷蔵能力の向上等<共通仕様>
- 167 広島県ニジマス養殖：海面と内水面が連携した海面2回出し生産による新たな養殖システムの構築等<改革型>

**認定改革計画 167件：実証事業中 46件(全体計画11件含む)、実証予定 12件、  
実証事業終了109件(かんばる漁業への移行11件含む)**

(注1) 赤数字：実証中の計画、青数字：実証予定の計画  
(注2) 計画名は、地域プロジェクト名及び漁業種類の一部を省略して記載 (注3) 計画概要及び地図はかんばる漁業へ移行した11件を除く。

- 74 隠岐(大中まき)：燃油消費量の削減、適量漁獲と活〆処理等<改革型>
- 82 近海まぐろ延縄(高知②)：省エネ、新型魚倉、深網、漁場変更<28.5～改革型>
- 92 御墨瀬(沖底)：小型化、省人化、直まき方式の採用等<28.9～改革型>
- 95 対馬市(小型いか釣り)：冷凍品製造、LED集魚灯等<28.8～改革型>
- 97 八重野ホタテガイ養殖：まき餌コスト削減、99トン型網船の導入、養殖作業の共同化等<26.12～改革型>
- 104 小川(さば棒受網)：3年具主体の生産構造への移行、養殖作業の共同化等<26.12～改革型>
- 106 近海かつお一本釣り(日南・南郷③)：操業海域変更、低温活餌装置の搭載等<28.2～改革型>
- 110 鯨子(沖底③)：ハイブリッド型漁船での操業、殺菌水生成装置導入等<28.9～改革型>
- 113 川南(沿岸まぐろ延縄)：新たな経営体の確保、漁船の小型化等<28.4～改革型(沿岸漁業版)>
- 114 山口外海(ハイ籠)：ハイ籠専業船の導入による船上作業の効率化等<28.7～改革型>
- 115 遠征組合⑤(大中まき)：改革型漁船導入による船団縮小(5隻→4隻)等<28.5～改革型>
- 116 屋久島(獲物一本釣り)：操業協業化による効率化等<28.6～改革型(沿岸漁業版)>
- 117 網代港(沖底②)：船上加工による6次産業化<28.9～改革型>
- 118 遠洋かつお一本釣り(統津・御前崎)：599トン改革型漁船での省コスト操業、活〆皿血製造等<27.12～改革型>
- 119 五島定置(大型・小型)：仕切網による操業効率の向上と魚価向上<28.4～改革型>
- 120 近海まぐろ延縄(日向)：メカジキトラップによる対象魚種多様化、操業海域変更<28.4～改革型>
- 121 名瀬沿岸かつお一本釣り：船団縮小、省エネ漁船導入によるコスト削減等<28.8～改革型>
- 122 ひやま(小型いか釣り)：新型漁労機器の導入、高鮮度出荷、いか釣り専業化等<28.5～多角化>
- 123 堺港②(べにずわいがに)：冷蔵機能魚倉、冷却水槽による高鮮度化、規格化等<29.4～改革型>
- 125 古宇郡(ホタテガイ養殖)：養殖施設を9基→33基に増設し生産体制の強化、販路拡大等<28.6～多角化(全体計画)>
- 57 遠洋まぐろ延縄(全体計画)：燃油使用量の削減、漁獲物の品質向上等

# 漁業構造改革プロジェクト外進捗状況

# —実証事業を終了した計画— (平成30年11月2日現在)

- 1 八戸(大)中まき：船回縮小(4隻)→2隻<20.4→23.3 改革型>
- 2 北海道漁船(室蘭)(沖底)：省コスト共通船型、操業協同化<20.9→21.8・21.9→24.8 改革型>
- 3 大津(大)中まき：船回縮小(4隻)→3隻<20.10→23.9 改革型>
- 4 寶籾(沖底)：省エネ船型導入<20.9→23.8 改革型>
- 5 遠洋まぐろ延縄(気仙沼②)：小形化(74トン→19トン)、協業化<20.6→23.5 改革型>
- 6 遠洋まぐろ延縄(気仙沼④)：B-1型品の製造、燃油削減<25.3→27.3マイルト>
- 7 石巻(大)中まき：単船化、省エネ省コスト化<21.8→24.7 改革型>
- 8 波崎(大)中まき：船回縮小(4隻)→2隻<21.8→24.7 改革型>〔自己負担等により実施〕
- 9 北海道漁船(小樽)(沖底)：生産体制の合理化<22.2→25.1 改革型>
- 10 香住(べにすい)いがり(に)：省エネ省コスト、高鮮度保持<21.9→24.8 改革型>
- 11 境港(べにすい)いがり(に)：省エネ省コスト、高鮮度保持<21.9→24.8 改革型>
- 12 紀伊水産(大)中まき：船回縮小(9隻)→7隻<21.7→23.6マイルト>
- 13 静岡(大)中まき：船回縮小(6隻)→5隻<23.1→25.1 改革型>
- 14 塩釜(遠洋底まき)：新規漁船(インドネシア)開発<21.8→22.2マイルト>〔中止〕
- 15 山形(遠洋底まき)：海外漁場(バブアニューギニア)の確保<21.11→23.11マイルト>
- 16 山形(沖底)：簡便性漁船、高品質水揚げ<21.9→24.8 改革型>
- 17 浜坂(沖底)：小形化(90トン→65トン)、省人化<21.9→24.8 改革型>
- 18 小浜(大)中まき：船回縮小(24隻)→22隻<21.10→23.11マイルト>
- 19 北海道漁船(釧路)(沖底)：船内加工等による高付加価値化<22.9→25.8 改革型>
- 20 気仙沼(近洋まぐろ延縄)：省エネ省コスト、高鮮度保持<22.8→25.8・22.10→25.10 改革型>
- 21 遠洋かつお一本釣(焼津)：省エネ省コスト、高付加価値化<22.9→24.8マイルト>
- 22 網代港(沖底)：省エネ、高鮮度保持<23.4→26.3 改革型>
- 23 遠洋まぐろ延縄(伊勢)：2船回縮小(2隻)→1隻<23.4→26.3 改革型>
- 24 近海(中まき)：5船回縮小(5隻)→4隻<23.4→26.3 改革型>
- 25 近海(中まき)：5船回縮小(5隻)→4隻<23.4→26.3 改革型>
- 26 愛媛(真珠養殖)：越物真珠生産<22.11→25.3 改革型>
- 27 紋別(小底)：省エネ化、衛生管理<23.3→26.2 改革型>
- 28 北浦(中まき)：6船回縮小(6隻)→5隻<23.4→26.3 改革型>
- 29 寶籾(沖底)：省エネ、船体出高<23.9→26.8 改革型>
- 30 三重外清(中まき)：船回縮小(6隻)→4隻、ウオーターバッグによる活魚輸送等<25.1→28.1 改革型>
- 31 舞鶴(大型定置)：操業体制の再編、省人・省力化、活魚率向上等<25.1→28.1 改革型>
- 32 網代港(小型定置)：省力化、活魚率・鮮度向上、大目合網の導入等<24.4→27.3 改革型>
- 33 遠洋まぐろ延縄(尾鷲)：小形化・省エネ、アルコーラスライアーズの導入<24.6→27.5 改革型>
- 34 遠洋まぐろ延縄(高知)：既存船の省燃費型への改修、船上加工<24.4→26.3マイルト>
- 35 浜田(沖底)：リシップ等による省エネ、高鮮度化、活魚販売促進<25.4→27.3マイルト>
- 36 歌(小形)いがり(釣)：共同探索・運搬等による操業の効率化<24.8→26.5マイルト>
- 37 遠洋まぐろ延縄(いわき)：省エネ、漁獲物処理の迅速化<25.7→28.6 改革型>
- 38 遠洋まぐろ延縄(気仙沼②)：省エネ、EU衛生基準に対応した設備<25.7→28.6 改革型>
- 39 遠洋まぐろ延縄(気仙沼③)：導入省エネ、高付加価値化<25.3→28.2 改革型>
- 40 遠洋まぐろ延縄(三崎)：船型の小型化、超深縄漁法の導入<25.8→28.7 改革型>
- 41 遠洋まぐろ延縄(伊勢)：省エネ・省コスト型漁船、浅縄操業の導入<26.2→29.1 改革型>
- 42 北海道漁船(稚内)(沖底)：省エネ型漁船、活〆脱血処理等による高付加価値化<25.10→28.10 改革型>
- 43 枕崎(遠洋かつお一本釣)：艀節向けバブライン艀生産、燃油費削減<25.3→26.3マイルト>
- 64 紀伊水産(大)中まき②：2艘まきから船まきへの転換、船回縮小(9隻)→7隻<26.2→28.2 改革型>
- 65 北まき・石巻(大)中まき(海まき)：単船操業、水揚数量の大幅削減<26.4→29.3 改革型>
- 66 枕崎(海まき)：合弁事業、バブライン操業、大目網の導入<25.3→27.2マイルト>
- 67 遠洋まぐろ延縄(焼津②)：冷気自然循環システムを採用、燃油使用量の削減<26.3→29.2 改革型>
- 68 遠洋まぐろ延縄(気仙沼④)：バブックフロア船型、省エネ航行、高品質化<26.5→29.4 改革型>
- 69 遠洋かつお一本釣(焼津②)：B-1型品の製造、燃油削減<25.3→27.3マイルト>
- 70 全国漁業(大)中まき(富山)：操業・航海の短縮、燃油削減、付加価値向上<26.4→29.3 改革型>
- 71 鹿児島(カシノハチ養殖)：国産人工種苗、飼料のEP化、作業共同化<25.4→28.8 改革型>
- 72 鹿児島(ブリ養殖)：国産人工種苗、2年魚出荷、共同作業船<25.3→27.7 改革型>
- 73 山口外海(小型定置)：新設網の導入、目合い拡大、鮮度保持・出荷調整等<25.12→28.11 改革型>
- 74 宇和島(中まき・小まき)：船回縮小(5隻)→4隻、生産コストの削減、活魚化率の向上<26.4→29.3 改革型>
- 75 遠洋まぐろ延縄(焼津②)：主機駆動系システム、気仙沼全量水揚げ等<26.4→29.3 改革型>
- 76 佐賀(真珠養殖)：ケンサキイカ釣り：ケンサキイカ活魚化1隻、船凍品製造1隻等<26.6→29.5 改革型>
- 77 近海まぐろ延縄(高知)：省エネ、高鮮度、漁場変更(中南海一南方)<25.10→27.9マイルト>
- 78 遠洋まぐろ延縄③(大)中まき：船回縮小(5隻)→4隻、2層甲板、バブライン凍結<26.4→29.3 改革型>
- 79 三重外清(大)中まき：船回縮小(6隻)→4.5隻、活魚、窒素ナノバブル高鮮度化<26.5→29.4 改革型>
- 80 福井(沖底)：省エネ、揚網方法の改善、活魚化<25.10→28.9 改革型>
- 81 真鶴(大型定置)：網設置位置の適正化、新設計網の導入<26.3→29.2 改革型>
- 82 遠洋まぐろ延縄(いわき串木野②)：解凍硬直防止技術の確立、地元販売等<26.8→29.7 改革型>
- 83 下瀬(真珠母貝養殖)：真珠母貝品種絞り込み、共同養殖、母貝大型化等<26.1→28.12 改革型>
- 84 遠洋かつお一本釣(焼津)：共同化、温度帯変更、塩釜基地等<25.12→27.12マイルト>
- 85 静岡(中まき)：ミニ船団化、小型化、活魚生産等<26.8→29.7 改革型>
- 86 近海(中まき)②：会社統合、ミニ船団化、活魚生産等<26.1→28.1マイルト>
- 87 海外まぐろ延縄(日南・南郷)：省人、小型化、漁場変更、活餌操業等<26.8→29.7 改革型>
- 88 海外まぐろ延縄(海まき)：インド洋・太平洋の併用操業、改革型漁船2隻の運搬、大型化等<27.4→30.3 改革型>
- 89 竹野(大型定置)：単船揚網体制、箱網の改良、底建網の採用、活魚化等<26.5→29.4 改革型>
- 90 秋田(大型定置)：流水予防網、大型クラゲ対策網、高価格魚種採捕漁獲網の導入等<27.3→30.2 改革型>
- 91 遠洋まぐろ延縄④(大)中まき：船回縮小(5隻)→4隻、主機関共通化等<27.4→30.2 改革型>
- 92 鹿児島(大型定置)：網の保守管理作業の軽減、漁獲物の販売方法の改善等<27.8→30.7 改革型>
- 93 船都(大型定置)：1ヶ所統一合理的2ヶ所統操業、改革型金庫庫、柔軟な出荷戦略等<27.9→30.9 改革型>
- 94 遠洋まぐろ延縄(焼津③)：代替冷凍導入、冷凍機の稼働台数適正化等<27.3→29.2マイルト>
- 95 遠洋まぐろ延縄(焼津④)：経営体統合、既存船の大規模リニューアル<27.9→30.8 改革型、27.10→29.9マイルト>
- 96 近海(大型定置)：高落とし式定置網導入、活魚出荷等販路拡大<27.10→30.9 改革型>
- 97 近海かつお一本釣(日南・南郷②)：操業海域変更、海水製塩機の搭載等<27.7→30.6 改革型>
- 98 蒲郡(大型定置)：操業体制の見直しによる省人化、アガエジ活魚化等<27.9→30.8 改革型>
- 99 北海道漁船(小樽②)(沖底)：LLPIによる効率的な操業、省人化、漁具共有化等<27.4→30.3 多角化>
- 100 北海道漁船(稚内②)(沖底)：操業対策委員会による操業、箱詰めの割合向上等<27.4→30.3 多角化>
- 101 香住(沖底)：巻き返しによる漁具削減、船上冷凍設備の導入等<27.9→30.8 改革型>
- 102 大分県(中まき)：フィッシュポンプの網船への搭載、小型魚の蓄養等<27.11→30.10 改革型>
- 103 厚岸(海面ニジマス養殖)：ブリ養殖休漁期を活用したニジマス養殖、ブランド化等<28.1→30.5 改革型>
- 104 厚岸(さば・いわし棒受網)：漁場探索の協業化、自動まき餌機導入による省人化等<28.5→30.7 多角化>
- 105 植草(さば・いわし棒受網)：漁場探索の協業化、自動まき餌機導入による省人化等<28.5→30.7 多角化>
- 106 全国(さば棒受網(公海さば棒受網))：船上凍結製品の生産、ロシア加工船への洋上売魚等<28.5→30.7 多角化>
- 107 長崎(西度曳(以西度ひき網))：新設網導入による省エネ、キダいの販路拡大等<28.10→30.9マイルト>
- 108 海外まき網(海まき②)：VDの高度利用、共同運搬船の活用<28.10→29.9マイルト>

実証事業終了109件 (がんばる漁業への移行11件含む)

(注4) 黒数字：実証を終了した計画